



市議会 だより

city
assembly
report

Vol. **22**

おもな内容

- 新年度予算特集 ————— 2~5
- 議案審議 ————— 6~7
- 常任委員会報告 ————— 8~11
- 各会派による代表質問 — 12~14
- 一般質問目次 ————— 15
- 一般質問(16名が問う) ——— 16~21
- 特別委員会・組合議会 ——— 22~23
- であい・こうか八景 Vol.2 ——— 24



やぶさめ
古式流鏝馬神事(甲賀町隠岐 椿神社)

平成22年度
甲賀市

一般会計予算可決

5年連続緊縮

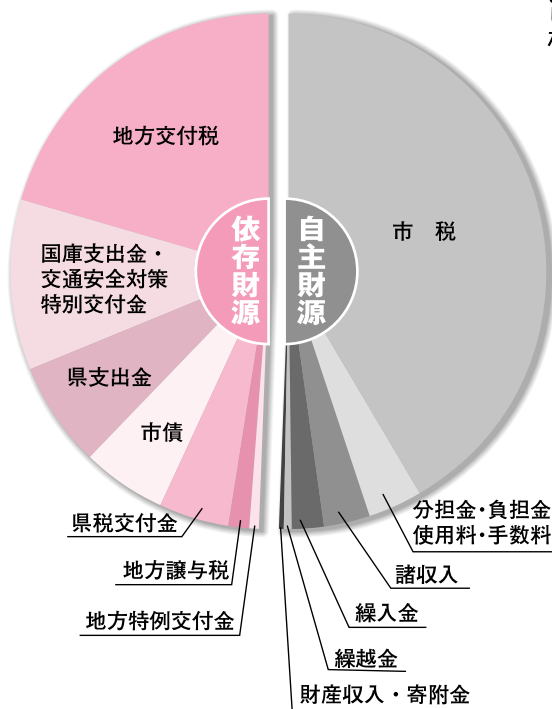
311億5千万円

(単位:千円・%)

区 分	22年度	21年度	伸率 (%)
◇市 税	12,917,128	13,407,082	△3.7
◆地方譲与税	390,000	430,000	△9.3
◆利子割交付金	37,000	50,000	△26.0
◆配当割交付金	10,000	15,000	△33.3
◆株式等譲渡所得割交付金	6,200	1,000	520.0
◆地方消費税交付金	715,000	780,000	△8.3
◆ゴルフ場利用税交付金	500,000	480,000	4.2
◆自動車取得税交付金	137,000	170,000	△19.4
◆地方特例交付金	179,000	190,500	△6.0
◆地方交付税	6,400,000	5,690,000	12.5
◆交通安全対策特別交付金	13,000	13,000	0.0
◇分担金及び負担金	597,989	670,642	△10.8
◇使用料及び手数料	465,563	452,070	3.0
◆国庫支出金	3,337,897	1,665,273	100.4
◆県支出金	2,053,463	1,923,385	6.8
◇財産収入	89,118	57,169	55.9
◇寄 附 金	10	10	0.0
◇繰 越 金	619,173	1,225,188	△49.5
◇繰 入 金	150,000	150,000	0.0
◇諸 収 入	890,659	1,029,681	△13.5
◆市 債	1,641,800	2,200,000	△25.4
歳入合計	31,150,000	30,600,000	1.8

◇自主財源	15,729,640	16,991,842	△7.4
◆依存財源	15,420,360	13,608,158	13.3

歳入



甲賀市の平成22年度一般会計予算は、前年度比1.8%増の31億5千万円の特別会計では、同比2.0%減の189億2千2百万円余、2企業会計では、同比10.3%減の49億9千8百万円余、引き続き厳しい予算編成となっています。歳出面では、人件費の抑制を図りながら、福祉や教育など市民生活に密着するものはできる限り縮減幅を抑えています。

「将来のために今やるべきこと」をしつかりと形に表し「やれるものをやる」費用対効果を含めて事業を検証し、峻別と集中を図った予算として提案されました。

各会計別予算額(総括)

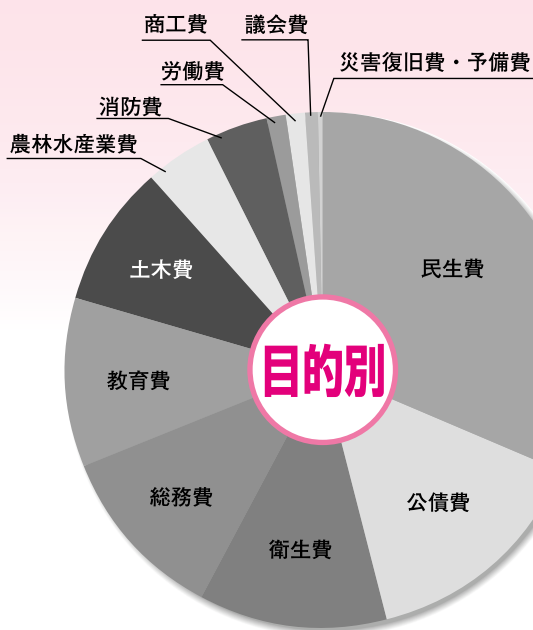
(単位:千円・%)

会計名	年度	22年度	21年度	伸率 (%)
一 般 会 計		31,150,000	30,600,000	1.8
特 別 会 計	国民健康保険	7,850,000	7,930,000	△1.0
	老人保健医療	50	50	0.0
	後期高齢者医療	1,611,000	1,479,000	8.9
	介護保険	4,699,000	4,553,000	3.2
	公共下水道事業	3,023,000	3,472,000	△12.9
	農業集落排水事業	738,000	1,076,000	△31.4
	土地取得事業	3,930	14,400	△72.7
	野洲川基幹水利施設管理事業	21,837	21,827	0.0
	鉄道経営安定対策基金	21,524	22,000	△2.2
	鉄道施設整備基金	31,000	22,160	39.9
	国民健康保険診療所	721,500	584,000	23.5
	浄化槽管理事業	138,000	101,000	36.6
	介護老人保健施設事業	63,500	31,100	104.2
	小 計		18,922,341	19,306,537
企 業 会 計	病院事業	957,856	1,089,907	△12.1
	水道事業	4,040,478	4,479,411	△9.8
	小 計	4,998,334	5,569,318	△10.3
合 計		55,070,675	55,475,855	△0.7

- ・ 妊婦健診費用助成では、限度額内で使い易い方法に変えていく。
 - ・ 休日保育の実施(水口地域から順次拡大する)。
- 《自治振興会》
- ・ 新しい地域コミュニティの推進では、平成23年度から「自治振興会」並びに「地域コミュニティーセンター」の設置に向け、市民の意見を聞き、検討を重ねながら円滑な取り組みを図る。
 - ・ 少子高齢化がさらに加速していく今こそ、自治区や自治会を尊重しながら「広域コミュニティ」による自主的な運営を可能にすることを目指している。

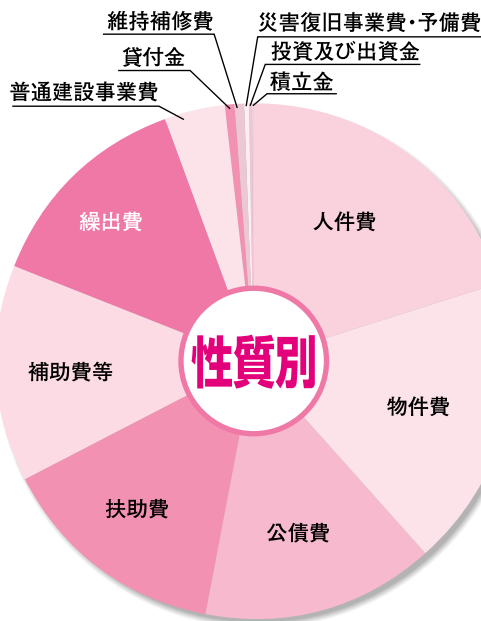
(単位:千円・%)

区 分	22年度	21年度	伸率 (%)
議 会 費	240,576	270,601	△11.1
総 務 費	3,465,005	3,478,063	△0.4
民 生 費	9,788,159	8,148,917	20.1
衛 生 費	3,679,617	3,809,903	△3.4
労 働 費	366,114	268,945	36.1
農 林 水 産 業 費	1,314,218	1,366,986	△3.9
商 工 費	353,738	464,983	△23.9
土 木 費	2,775,395	2,952,226	△6.0
消 防 費	1,206,742	1,200,987	0.5
教 育 費	3,305,026	3,350,881	△1.4
災 害 復 旧 費	4	2	100.0
公 債 費	4,555,406	5,187,506	△12.2
予 備 費	100,000	100,000	0.0
歳 出 合 計	31,150,000	30,600,000	1.8



(単位:千円・%)

区 分	22年度	21年度	伸率 (%)
人 件 費	6,262,919	6,475,571	△3.3
物 件 費	5,706,088	5,491,180	3.9
維 持 補 修 費	172,682	164,491	5.0
扶 助 費	4,485,985	2,923,330	53.5
補 助 費 等	4,236,180	4,219,720	0.4
普 通 建 設 事 業 費	1,174,295	1,812,018	△35.2
災 害 復 旧 事 業 費	4	2	100.0
公 債 費	4,555,406	5,187,506	△12.2
積 立 金	42,781	171,156	△75.0
投 資 及 び 出 資 金	46,229	38,118	21.3
貸 付 金	189,000	89,000	112.4
繰 出 金	4,178,431	3,927,908	6.4
予 備 費	100,000	100,000	0.0
歳 出 合 計	31,150,000	30,600,000	1.8



平成22年度の予算の特色

● 厳しい財政状況の中で

起債償還がピークを迎え、向こう3年間は毎年10億円前後の収支不足がおこることとなるが、歳入歳出のプライマリーバランスの黒字化を堅持しつつ、実質公債比率では財政健全化計画を達成する。

《人件費》

- ・平成21年度からの特別職の給与及び管理職の手当一部カットに加え、更に特別職・全職員の期末勤勉手当の削減をする。

《福祉・教育》

- ・福祉や教育など市民生活に密着するものは縮減幅を抑える。
- ・2小学校のバリアフリー化事業。
- ・スポーツの森整備事業。
- ・区・自治会管理の公園遊具について、市が一括して遊具事故に対する賠償保険に加入。
- ・生活保護の面接相談や新規調査のための「生活相談員」を配置。
- ・「在宅障害者通所生活訓練援助制度」を新規実施。
- ・地域支援事業「成年後見利用支援制度」を創設。

の将来を見据えた予算編成

理想郷「こうか」の実現をめざして

予算特別委員会

平成22年度甲賀市一般会計予算について、付託された予算特別委員会では、4日間にわたり、各部署に詳細な説明を求め慎重に審査を行いました。

採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。

集中審査

22年度予算は、5年連続、実質縮減された予算であり緊縮予算となっております。国の子ども手当など外的要因により総額では31億5千万円と対前年比1.8%と微増となっておりますが、実質的な一般財源ベースではマイナス予算となっております。編成にあたっては自主的、自立的に財源の確保とコスト意識の向上を図ることを重要とし、歳入予測が慎重に見積もられた予算となっております。現下の経済情勢により、昨年から引き続き法人市民税の減少に加え、個人市民税も大きく減少することが予想され、厳しい予算ではあるものの、基金の取り崩しや市債の発行については、将来負担の軽減の観点から極力押さえたものとなっております。

歳出では、経費削減を第一に考える中で行政サービスにつながることを視野に入れ編成されています。

スポーツの森公園（陸上競技場）整備事業	464,559
甲賀広域行政組合負担金（消防・消防建設）	980,303
非常備消防活動推進事業	136,066
電算システム更新事業（新）	238,938
地上デジタル放送受信環境整備事業補助	35,000
まちづくり総合調査業務委託（新）	3,000

（単位／千円）



スポーツの森
陸上競技場

目標4 地域の特性を活かし、元気な産業を伸ばす

農地利用集積事業補助（新）	20,000
鳥獣害対策・有害鳥獣駆除事業	14,700
中山間地域直接支払交付金	61,166
活力あるむらづくり事業	6,569
地元地域材利用促進事業	4,000
陶器食器事業（新）	400
ふるさと雇用再生特別交付金事業	69,798
緊急雇用創出事業臨時特例交付金事業	121,466
中小企業融資制度推進事業	90,707

（単位／千円）

目標5 たくましい心身と郷土への誇りをもつ人を育てる

図書館図書の購入	18,000
自立支援サポーター配置事業（新）	2,100
適応指導事業	11,315
特色ある学校づくり推進事業	7,406
小学校施設バリアフリー化事業	99,925
市史編纂事業	22,531
水口岡山城跡発掘調査事業（新）	4,100

（単位／千円）



甲賀市史

協働の目標 市民と行政の協働により、まちの成長力を高める

地域振興会モデル事業補助	750
区事務活動・地域区長会交付金	51,673
移譲施設整備基金積立金（新）	20,000
広報あいこうか発行	34,126
点字広報発行	252
行政改革推進事業	2,848
固定資産評価基礎データ作成業務委託	67,000

（単位／千円）

峻別と集中 市

厳しい財政「それでも



人件費や物件費などの義務的経費は削減となったが、政策的経費は、福祉面において出来るだけ削らずに編成に取り組まれています。

反対討論では雇用対策が重要であるが甲賀市としての対策が見られない、道路維持管理費も不十分、住宅問題も遅れている等の意見がありました。

賛成討論では、プライマリーバランスの黒字化を保ちつつ財政健全化計画を3年前倒しで達成出来る見込みであり、小学校のバリアフリー化やスポーツの施設への積極的な対応、休日保育や、保育園の信楽焼食器の導入、また自治振興会へのモデル事業など、今やるべきことをしっかりと形に表し、やれるものをやりきると言う気概が十分に感じられるとの意見がありました。

● 予算特別委員会委員 (議席番号順) ◎委員長○副委員長

◎ 臈 藤男	的場 計利	石川善太郎
○ 中島 茂	加藤 和孝	安井 直明
木村 泰男	田中 新人	服部 治男
小西喜代次	葛原 章年	
谷永 兼二	中西弥兵衛	

主な事業

主な施策

目標1 生活の安心感を、みんなで育てる

外国語通訳の設置	8,022
国際化推進計画発行(新)	399
甲賀・湖南人権センター負担金	46,737
DV計画策定事業(新)	236
福祉バス運行業務委託	17,147
社会福祉協議会運営補助	74,400
在宅障害者通所生活訓練援助業務委託(新)	12,570
障害者(児)自立支援給付事業	704,640
民間社会福祉施設整備補助(新)	2,000
子ども手当支給事業(新)	2,260,715
私立保育園建設補助(新)	117,291
休日保育事業(新)	1,176
母子保健事業	16,375
自殺対策強化事業	927
健康プラン策定業務委託(新)	757
母子保健事業(妊婦検診委託)	58,109
予防接種事業	117,927

(単位/千円)

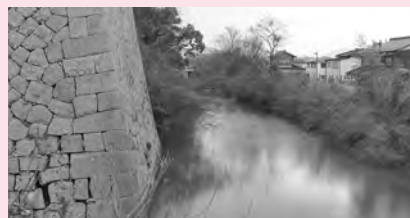


スポーツの森
ふれあい広場

目標2 自然を大切に、暮らしの豊かさにつなぐ

新名神高速道路環境監視事業	14,725
やまのご事業	10,180
景観計画策定業務(新)	4,281
水口城跡周遊道路整備事業	5,000
廃プラスチック類リサイクル事業	98,859
資源ごみ収集運搬業務委託	334,180
甲賀広域行政組合負担金〔清掃・清掃建設〕	638,532

(単位/千円)



水口城跡

目標3 安全で快適な生活の基盤を整え、まちの活力を高める

コミュニティバス運行事業補助	211,400
道路台帳修正業務委託(新)	5,000
地域グリーンニューテイル基金事業(LED防犯灯への交換事業)	10,000
急傾斜地崩壊対策事業(新)	1,500
吹付けアスベスト等含有調査事業費補助(新)	250
花風香の湯管理運営事業市支援策貸付金(新)	100,000

(単位/千円)

85議案 慎重に審議採決

1月26日の臨時会は補正予算・条例の一部改正等があり、新年度予算案などを審議する3月定例市議会は2月24日から3月24日まで甲賀市の新年度一般会計予算案をはじめ11予算案、また21年度の補正予算案13件、条例の制定や一部改正、人事案件、さらに議員提案による条例の改正や意見書など85の議案に対して慎重に審査しました。その結果については次の通りです。

◎より詳細な内容はインターネット・甲賀市ホームページの市議会（議会中継）で本議会の模様をご覧ください。
<http://www.city.koka.shiga.jp/>

臨時会

条例の一部改正

- ◆特別職の職員の給与等に関する条例及び教育委員会教育長の給与等に関する条例（全員賛成にて可決）

議決

- ◆財産の取得
- ◆和解及び損害賠償の額

を定めることにつき議決を求めることについて

（以上2件全員賛成にて可決）

平成21年度補正予算

- ◆一般会計補正予算（第6号）（全員賛成にて可決）

3月定例議会

人事

- ◆人権擁護委員の推薦
黄瀬忠幸（信楽町）
（全員賛成にて同意）

条例の制定

- ◆行政サービス制限条例（賛成多数にて可決）
- ◆移譲施設整備基金条例（全員賛成にて可決）

条例の一部改正

- ◆行政組織条例
- ◆職員の勤務時間、休暇等に関する条例
- ◆職員の育児休業等に関する条例
- ◆特別職の職員の給与等に関する条例及び教育委員会教育長の給与等に関する条例

- ◆職員の特種勤務手当てに関する条例

- ◆手数料条例

- ◆減債基金条例

- ◆福祉医療費助成条例

- ◆子育て支援センター条例

- ◆児童クラブ条例

- ◆介護保険条例

- ◆後期高齢者医療に関する条例

- ◆スポーツ施設条例

- ◆総合計画策定審議会条例等
（以上14件全員賛成にて可決）

- ◆学校施設開放条例
（賛成少数にて否決）



信楽中学校室内温水プール

- ◆職員の給与に関する条例

- ◆職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
（以上2件賛成多数にて可決）

条例の廃止

- ◆野洲川上流水源地域振興基金条例
（全員賛成にて可決）

平成22年度予算

- ◆一般会計
（賛成多数にて可決）
- ◆国民健康保険特別会計
（賛成多数にて可決）
- ◆老人保健医療特別会計
（全員賛成にて可決）
- ◆後期高齢者医療特別会計
（賛成多数にて可決）
- ◆介護保険特別会計
（賛成多数にて可決）
- ◆公共下水道事業特別会計

議会で審議したもの

- ◆ 農業集落排水事業特別会計
- ◆ 土地取得事業特別会計
- ◆ 野洲川基幹水利施設管理事業特別会計
- ◆ 鉄道経営安定対策基金特別会計
- ◆ 鉄道施設整備基金特別会計
- ◆ 国民健康保険診療所特別会計
- ◆ 国民健康保険診療所特別会計
- ◆ 浄化槽管理事業特別会計
- ◆ 介護老人保健施設事業特別会計
- ◆ 病院事業会計
- ◆ 水道事業会計
- (以上11件全員賛成にて可決)
- 平成21年度補正予算**
- ◆ 一般会計(第7号)
- ◆ 国民健康保険特別会計(第2号)
- ◆ 老人保健医療特別会計(第2号)
- ◆ 後期高齢者医療特別会計(第2号)
- ◆ 介護保険特別会計(第4号)



くすり学習館

- ◆ 公共下水道事業特別会計(第4号)
- ◆ 農業集落排水事業特別会計(第4号)
- ◆ 野洲川基幹水利施設管理事業特別会計(第3号)
- ◆ 国民健康保険診療所特別会計(第3号)
- ◆ 浄化槽管理事業特別会計(第4号)
- ◆ 介護老人保健施設事業特別会計(第1号)
- ◆ 病院事業会計(第2号)
- ◆ 水道事業会計(第3号)
- (以上13件全員賛成にて可決)
- 議決**
- ◆ 財産の処分
- くすり学習館を(社)滋賀県農業協会に無償譲渡
- (全員賛成にて可決)

- ◆ 指定管理者の指定(別表)
- (全16件全員賛成にて可決)
- ◆ 市道の廃止
- 水口町 宇田住宅6号線
- (全員賛成にて可決)
- ◆ 市道の認定
- 水口町 宇田住宅6号線
- 水口町 高塚11号線
- 甲南町 野田1号線・野田2号線・野田3号線
- (全員賛成にて可決)
- 議員提案の条例改正**
- ◆ 議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例(減額・月額)
- 議長 10,000円
- 副議長 7,000円
- 議員 5,000円
- ◆ 議会委員会条例の一部を改正する条例
- (全員賛成にて可決)
- 意見書**
- ◆ 茶業振興に関する意見書
- (全員賛成にて可決)
- ◆ 国として直接地方の声を聞く仕組みを保障す

(別表) 指定管理者指定可決一覧表

公の施設の名称	指定管理者名
水口児童クラブ	特定非営利活動法人 わくわくキッズ
綾野児童クラブ	
貴生川児童クラブ	
貴生川第2児童クラブ	
伴谷児童クラブ	
伴谷東児童クラブ	
柏木児童クラブ	甲賀町児童クラブ保護者会
甲賀町児童クラブ	
信楽児童クラブ	信楽児童クラブ保護者会
大河原ふれあい広場	大河原区自治会
大河原ふれあいホール	上野区自治会
上野ふれあい広場	
国民宿舎かもしか荘	近江鉄道株式会社
あいの土山都市との交流センター	
野洲川児童公園	日本観光開発株式会社
東海道伝馬館	特定非営利活動法人 歴史の道東海道宿駅会議

- ◆ することを求める意見書(賛成多数にて可決)
- ◆ 辺野古新基地建設計画の中止と普天間基地の無条件返還を求める意見書
- (賛成少数にて否決)
- ◆ 民主主義を破壊する衆議院の定数削減はやめるよう求める意見書
- (賛成少数にて否決)
- ◆ 企業・団体献金の禁止を求める意見書
- (賛成少数にて可決)
- ◆ 政党助成金の廃止を求める意見書
- (賛成少数にて否決)
- ◆ 小沢幹事長の資金管理団体「陸山会」の土地購入をめぐる事件で、国会での真相解明と小沢氏らの政治的道義的責任を求める意見書
- (賛成多数にて可決)
- ◆ 後期高齢者医療制度の廃止を求める意見書
- (賛成少数にて否決)
- ◆ 生活保護の老齢加算の復活を求める意見書
- (賛成少数にて否決)
- ◆ 消費税を増税に導く税制「改正」法の付則104条の廃止を求める意見書
- (賛成少数にて否決)
- ◆ 野生動物の保護管理と被害防止並びに獣肉の資源的活用など抜本対策を求める意見書
- (賛成少数にて否決)
- ◆ 介護保険制度の抜本的な基盤整備を求める意見書
- (賛成多数にて可決)
- ◆ 子ども読書活動を推進するための予算確保を求める意見書
- (賛成多数にて可決)
- ◆ 政治資金規正法の制裁強化を求める意見書
- (全員賛成にて可決)

総務常任委員会

市行政推進の中核を担っている委員会です。

付託議案

行政サービス制限条例など 特別会計予算3件・条例の制定2件

当常任委員会は、3月18日に委員会を開催し、執行部に資料の提出と説明を求め、特別会計予算案3件と、条例の制定2件について、慎重に審査を行いました。

甲賀市土地取得事業特別会計予算

この会計は土地の先行取得により、事業を円滑に推進するために設けられたものです。土地貸付に係る貸付単価は、固定資産税の評価額から算出していきます。土地開発基金で購入した土地は一般会計へ買い戻すべきですが、厳しい財政事情でありできていないことに改善を期すものです。

甲賀市鉄道経営安定対策基金特別会計予算

この会計は、基金条例に基づき、信楽高原鐵道の経営の健全化を図るため設けられたものです。経営状況などの質疑がある中、市民サポート制度などの取り組みの考えは

ないかに対し、

枕木オーナー制

度が一月から実

施されています。

一口5千円で2

千円を枕木への

ネームプレート

や記念品に充て

られ、3千円を

枕木整備等に活

用されるもので

す。集客策とし

て引き続き、積

極的に取り組み

られることを申し

添えました。

甲賀市鉄道施設整備基金特別会計予算

この会計は基金条例に基づき、基金運用益を基金からの繰入により、鉄道の施設整備に充当するものです。



レール交換は22年度末

見込で67%、コンクリー

ト枕木への交換は18・4

%完了し安全で快適な運

行に努力されています。

甲賀市行政サービス制限条例の制定について

この条例は、滞納者に

対して特別の措置、行政サービスの制限を実施することにより、市税の納付に関する意識の高揚を図り、税負担の公平性を確保することを目的とするものです。実施において、特別な事情がある場合、市民生活に著しく影響を及ぼす事業を除く、38事業が対象となり、市民税、固定資産税、軽自動車税の3税を対象とし、目的税及び料金等は除かれます。この条例は特に議論が多く、反対、賛成討論も活発に行なわれました。

甲賀市移譲施設整備基金条例の制定について

現在、公共施設の区・

自治会への譲渡を含めた

見直しが進められており、

この条例は対象施設の移

譲が円滑に行われるよう、

瑕疵による小規模な修繕

に対する財源、また移譲

後の大規模改修における

補助金の財源として活用

するため、基金を設置す

るもので、22年度におい

て2000万円積み立てるものです。

以上3件の特別会計は全員賛成、行政サービス

制限条例は賛成多数、移譲施設整備基金条例は全員賛成にて可決すべきものと決定しました。

行政視察

「地域コミュニティ」の 設立に向けて行政視察

当委員会では、2月4～5日に、本市で地域コミュニティについて議論されており、地域振興組織の先進地への行政視察を行いました。

広島県安芸高田市

行政支援が十分見込めないという危機感で、地域は自らが守るという気運が高まった。行政を支え、全体で支えるまちづくりが必要であるとのことでした。

のことでした。

今後甲賀市のまちづくり、自治振興会の設立に向けて、生かしていきたいです。

島根県雲南市

各地域が特色ある取り組みをすれば、市民が主役の原点となる。地域ブランドとなり、住みたいと思える地域になることが地域づくりへの参加が実感できると



安芸高田市より説明を受ける

民生常任委員会

市民の生活と環境・福祉に関わる委員会です。



付託議案

特別会計予算などを慎重審議 特別会計予算6件・事業会計予算1件

当常任委員会は、3月18日に委員会を開催し、執行部に資料の提出と説明を求め、特別会計予算案6件と、事業会計予算案1件について、慎重に審査を行いました。

国民健康保険特別会計

国・県支出金、前期高齢者交付金、一般会計繰入金金を歳入とし、保険給付費、保健事業等を歳出として計上し、予算総額を歳入歳出それぞれ78億5千万円とするものです。審査では賛成多数により、

原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

いたしました。

老人保健医療特別会計

予算総額を歳入歳出それぞれ5万円とするものであり、月遅れ請求医療費等の支払の精算調整を行うものです。審査では

全員賛成で可決すべきものと決定いたしました。

介護保険特別会計

予算総額を歳入歳出それぞれ46億9900万円とするもので、介護サービス給付費見込み額は、

第4期介護保険事業計画および高齢者保健福祉計画に基づき、平成21年度の実績を見込んだものより、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

後期高齢者医療特別会計

予算総額を歳入歳出それぞれ16億1100万円とするもので、被保険者を1万1862人と見込んでいます。審査では賛成多数により、原案のとおり可決すべきものと決定

国民健康保険診療所特別会計

予算総額を歳入歳出それぞれ7億2150万円とするもので、水口医療センターの診療所建築にかかる設計監理業務費および建設工事費を計上し

介護老人保健施設事業特別会計

本予算は、昨年12月に新たに設置された予算であり、予算総額を歳入歳出それぞれ6350万円とし平成24年度の開設を

目指す介護老人保健施設建設関連予算を計上しているものです。審査では

全員賛成で可決すべきものと決定いたしました。

甲賀市病院事業会計

本予算は、収益的収入・支出予定額をそれぞれ8億8800万円と定め、資本的収入予定額を28

3.8万1千円 資本的支出予定額を6985万6千円と定めるものです。旧水口市民病院の減価償却と企業債償還分を含む信楽中央病院の運営費を見込んでいます。審査では全員賛成で可決すべきものと決定いたしました。

行政視察

介護予防(丸亀市)・地域医療のあり方(宇和島市)を視察

丸亀市役所

長寿社会を迎えた今日、高齢者が日々生きがいをもって積極的に社会参加し、自立した生活を送るための介護予防に関する施策は極めて重要です。

丸亀市では、『市民と市政が協働してまちを創る』を理念に介護予防の取り組みがなされ、着実にその効果を見出されています。

宇和島市民病院

四国西南地域唯一の総合病院としての位置づけの中で地元開業医との連携、公立病院としての不採算部門について地域医療をどのように担っていくのかなどの課題の解決方法の糸口を探りました。



宇和島市より説明を受ける

文教常任委員会

文化やスポーツ、教育に関わる委員会です。

行政視察

市内小・中学校の統廃合問題のあり方を考える！

当常任委員会は、平成21年7月に「甲賀市立小・中学校の適正規模及び適正配置に関する基本的な考え方」についての答申がされたのを受け、現在教育委員会においてその再編計画のあり方について検討中です。このため当委員会は2月8～9日にかけて、先例地である岡山県新見市と香川

岡山県新見市



区では片道約50分かかることからクラブ活動に支障があるとのことでした。本市委員と担当者との主な質疑

Q は次のとおりです。
Q 統廃合を進めていく中での問題点と解決策は。

A 小学校と学区は地域との結びつきが強く、無なることに對する住民の危機感があるため学区を大きく考えていただくことに苦労しましたが、今後の子どもたちの生活を考慮理解していただいた。統廃合計画を周知するため、何度も地域との調整や話し合いが必要と思う。

Q バス通学のための家庭の負担と市の負担は。

A バス停までは家庭の負担となるが2km以上ある児童生徒には通学支援をしている。スクールバスによる市の経済負担は交付税算入等で高くない。

Q 答申を受けた教委が議会に報告、それを教委から地域へトップダウンの形で進められたのか。

A 形としてはそのとおりだがそこに至るまで地域の声を十分に勘案して



新見市教委から説明を受ける

香川県さぬき市



Q この統廃合は教育委員会の主導か。
A 教育委員会が主導。

Q おりアレルギーはない。

平成14年に5町が合併、旧町の枠組みを外すことが厳しい中、平成20年に再編計画を策定した。小学校は旧町に1校は残り中学校は旧町の枠を越えて再編、平成12年度から本格的に進められている計画では平成29年度までに小学校14校と1分校を

6校にし、中学校は6校を4校に統廃合することになっているが地域住民との合意が大きな課題となっています。

Q 平成18年度の素案提案から再編実施計画発表までの道筋については。
A 合併協定の課題であったが先送りされ今日に至っている。急激な少子化と耐震の問題から同時進行したが、お金がないから再編するというのは大きな間違いだと思

後で気付いた。再編実施計画発表までの流れについては「案はあくまで案であり住民の中に飛び込まないと成果にならない」と判断し、数回の住民説明会や地域協議会を開催した

Q いつの時点で議会との協議、説明をしたのか。
A 素案時から議会と相談して進めている。各段階ごとに委員会に説明しながら進めてきた。特別

委員会の設置はしてない。
Q 通学区域拡大に伴う遠距離通学対応は。

A 再編計画の一番大きな問題であったが小学校は原則徒歩とするが学校まで2.5km以上の児童はスクールバス、但し5・6年生については自転車も可、中学生は原則徒歩又は自転車とする。

小・中学校の再編計画が検討される甲賀市においても次世代を担う子どもたちの育成と学校環境の充実を図るため、当委員会としてもさらなる研さんを積み重ねたいと考えます。



新しいさぬき市庁舎前にて

産業建設常任委員会

産業・建設・観光振興・上下水道の整備に関わる委員会です。

付託議案

公共下水道会計など審議

特別会計、企業会計など5会計予算を慎重に審査

当常任委員会は、3月18日に委員会を開催し、執行部に資料の提出と説明を求め、特別会計予算案4件と、企業会計予算案1件について、慎重に審査を行いました。

公共下水道事業特別会計

安全で快適な住環境整備である下水道の、施設維持管理などの会計です。

下水道管の面整備や土山オー・デュ・プールの補修などがされます。しかし、財政状況から、完了年度の延伸を余儀なくされます。

農業集落排水事業特別会計

市内24箇所の農業集落排水施設の維持管理費用で、昨年に続き朝宮地区の整備がされます。また、使用料収入が低いことが、厳しい要因の一つとなっています。

野洲川基幹水利施設監理事業特別会計

野洲川ダムと水口頭首工に係る施設管理事業を

行う予算です。野洲川土地改良区への委託料等です。

浄化槽管理事業特別会計

希望ヶ丘地域の処理場及びポンプアップ施設の維持管理を実施するもので、管路の補修と宅内マス等を調査するものです。

水道事業会計

安全で安心な水道水を供給するため、必要な施策を実施するものです。企業会計の給水収益の落ち込みから厳しい状況にあり平成20年度から料金改定を実施するなどしているが、生活に欠くことのできない水道事業の維持管理費用は、必然的に発生しています。漏水の頻度の高いところ

ろは、計画的に更新を行います。

また、遊休資産の処分については、広報等で呼びかけていきます。未収金対策として専門的に回収に努めます。

以上、5件の予算案審議は、活発な審議のあと採決を行い、各議案とも全員賛成により可決すべきものと決定しました。



行政視察

獣害対策の先進事例を調査

いつでも、どこにでも発生する獣害は、近年あたりまえになってきました。これの対策について先進的な事例を現地調査しました。

兵庫県三田市

委員会では1月31日と2月1日に兵庫県及び岡山県での先進研修を実施しました。

神戸市の市街地に近いことから、アライグマの住宅地での発生が多くなり、野菜被害が近年目立ってきたため、集落の代表者による捕獲の推進委員会が組織されています。

この対応研修を終了した各委員は、市が購入したワナを借受け、住民からの情報を得た箇所へ仕掛けます。

そして、捕獲されれば猟友会へ連絡し、会員が

処理にあたるシステムです。

狩猟免許取得者の減少傾向にある中、区民一体となって獣害対策に取り組んでいます。



三田市役所庁舎前

岡山県高梁市

不耕作地の解消に肉牛の放牧をし雑草の抑制と同時に、ヌートリア、アライグマなどが減少したとの事例について研修しました。これは、不耕作地約1ヘクタールを電柵で囲い赤毛和牛4頭を放

牧させるものです。

これによって草が牛のエサとして利用されたり、また歩くことによって雑草が衰えていくものです。肉牛は約30ヶ月で入替への予定とのことです。

当地域は地形が放牧に適しており、省力で不耕作防止の効果を研修しました。

また、高梁市はぶどうの産地であり鳥害、猿害については超音波による防止策を講じているが、一台当たりの能力には限界があり、作付けが広範囲なため、価格が高額となり、検討が必要とのことでありました。



不耕作地への放牧

各党派による 代表質問

目次

平成 22 年 3 月 8 日

平成 22 年 第 2 回甲賀市議会定例会代表質問

順番	議席番号	氏名	会派名	質問事項
1	15 番	辻 重治	甲政クラブ	1 平成 22 年度予算について
				2 稼ぐ、削る、守る、のキーワードがあるが、稼ぐについて伺う
				3 5つの町の均衡ある発展を誰もが願うが、学区単位の自治振興会と地域コミュニティセンター構想が、なぜこの時期に発想されるのか
				4 新たな税財源の確保について、企業誘致の考えについて
				5 農業振興について
				6 コミュニティバスの運行について
2	17 番	野田 卓治	清風クラブ	1 平成 22 年度予算編成について
				2 市長の施政方針について
				3 地域コミュニティの創造について
				4 地域情報化について
				5 地域医療体制について
				6 本市における危機管理体制の現状について
				7 農政転換における市の農業政策について
3	5 番	山岡 光広	共産党 甲賀市議員団	1 民主党中心の新しい政権と新年度予算について
				2 滞納問題の解決と行政サービス制限について
				3 同和行政の終結にむけた課題について
				4 介護保険の要介護認定と訪問介護サービスについて
				5 地デジの新たな難視対策と地域情報基盤整備について
				6 希望ヶ丘本町の土地問題について
4	12 番	白坂萬里子	公明党 甲賀市議員団	1 平成 22 年度予算編成方針について
				2 地域自治振興会の設置について
				3 介護問題について
				4 女性特有のガン対策について
				5 小・中一貫教育について
5	13 番	田中 新人	正政会	1 市政運営及び当初予算提案について
				2 農業行政について
				3 子ども手当について
				4 深刻化する若年層の雇用問題について

平成 22 年度予算編成と自治振興会について

甲政クラブ



辻 重治

問 新年度予算は何に重点をおいたのか、合併のスケールメリットは、反映されているのか。

市長 急激な景気後退以降、厳しい財政状況の中で、「安心・安全のまちづくり」健康や福祉、教育など、市民生活に、密着するものに重点をおいた。物件費などの削減や、

集中改革プランを継続実践し、財政指標は改善に向かい合併メリットが表れてきている。

財務部長 財源確保のため遊休地の有効活用や処分、また税の収納適正化に努める。

問 新たな税財源確保である企業誘致の現状と今後は。

市長 地理的優位性などから、合併後 56 社の誘致

がされ製造品出荷県下一位である。進出用地が少なくなつた事から、民間による団地開発手法を県とも協議している。

問 自治振興会と地域コミュニティセンター構想はなにか。

市長 薄れかけてきた共生の力が高められる多様な課題を抱える区・自治会が連携して補い合い、行政もかわることで市全体が元気になるものと確信する。

総務部長 概ね小学校区を単位とし、考えている。

問 農業振興について新政権での思いを問う。

市長 農政の大転換であるが、生産者の所得補償と米の需給調整は、実行できるものと考えている。

農業者が不安を抱くことなく、これまで取り組

んだ事業を着実に継続する。

産業経済部長 新制度については戸惑いや混乱が生じないよう進める。中山間地域等の事業については引き続き取り組んでいく方針である。

問 コミュニティバス運行の工夫を。

市長 ニーズに応じた方式やデマンドの導入を平成 22 年度に行い、密着した利用しやすい交通サービスの構築に取り組む。



完成が待たれる陸上競技場



代表質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

新しい地域コミュニティ像は

清風クラブ



野田卓治

問 予算編成において、財政健全化、重点施策、決算分析を考へての取り組み状況、歳入「稼ぐ」にいて努力されたもの、政権交代による影響は。

市長 人件費の独自削減、公共施設、補助金の見直しなど行政改革を進め、市長の公約の一つ、保育園の休日保育、陶器茶碗による給食の実施、水口医療センターの改築などに着手、「共生き社会」実現のため自治振興会のモデル地域の取り組み、滞納対策の強化、子ども手当による影響での予算となる。

問 施政方針で公約として実施された施策、市政への思いを伺う。

市長 共生き社会に具体策として、自治振興会、地域コミュニティセンタ

ーの創設に取り掛かり、健やかな成長、働く場所と快適な住環境が約束され、家族愛や地域愛に支えられ、意義ある人生が送れる理想郷への強い思いのもと、全てを尽くす。

問 地域コミュニティの創造についての考え方を具体的に質問。

市長 市民の知恵や知識、経験を結集させ、行政も共に知恵を出し合い、共に行動し、共に汗をかきながら、持続可能なまちづくりを進めることが、私の望むコミュニティ像です。庁内検討委員会です。庁内検討委員会で具体案をまとめ、地域に説明し議論を踏まえ、制度を構築する考えです。

問 地域情報化について。

市長 公民協調型第三セクター方式により実施する方向で、市内3事業者

と協議中です。国の補助制度の変更により、動向を注視し、地域情報一元化のための基盤整備事業を「民設民営」による推進を考へています。

問 地域医療体制について。

市長 新甲賀病院を中核病院とし、水口医療センター、信楽中央病院、地域医療機関と連携を図り、医療、福祉、保健分野の関係者が一体となり、市民が安心して暮らせる体制を考へています。



水口医療センター
完成予想図

新政権と新年度予算、滞納問題と行政サービス制限条例について

日本共産党



山岡光広

問 新政権のコメの戸別所得補償、日米FTAについての所見は。

市長 全国一律の補償額の交付による所得補償のため、土地条件や経営規模、農家の実情に即したものはいいがたい。日米FTA締結は阻止を働きかけていきたい。

問 滞納解決は喫緊の課題であるが、ここ数年差押え件数が急増、市民から強権的な徴税と指摘もあ

る。行政サービスを制限する条例を制定するのは、生存権の侵害につながるのではないか。

問 なぜ滞納が急増しているのか、ここを分析して解決しないと、制裁では滞納解決にならない。条例で収納率は向上する

のか。

財務部長 収納率の向上を期待することは難しい。滞納の抜本的な解消には難しいものがある。

問 同和特別対策はやめて必要な施策は一般施策へ。同和の固定資産税減免は廃止すべき。

副市長 平成23年度には廃止する。

問 地デジの新たな難視区域はどこか。具体的な対策を急ぐべき。

企画部長 水口（今郷）、土山（南土山、末田、西

瀬音、平子）、甲賀（高嶺、和田、毛枚、隠岐、樺野、五反田）、甲南（上馬杉、下馬杉、葛木、希望ヶ丘）、信楽（下朝宮、多羅尾、神山、北新田、畑）の一部が新たな難視区域。デジサボや総務省に改善策を働きかけている。

問 昭和46年頃から開発分譲され現在約2千世帯の希望ヶ丘。特に本町地域で、登記簿の面積と実際の面積に違いがあることが明らかに。市として改善へ指導的役割を。

財務部長 市の管理範囲を明確にすることはできないが、宅地の間に市有地が带状にあるのは事実。関係者の同意を得ての境界確定しか根本的な解決はないが、法務局などにも働きかけて可能な限りサポートしていく。

完成予想図

代表質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

平成22年度予算編成と諸課題について問う

公明党



白坂 萬里子

問 経済不況の影響で法人税・市民税等々の落ち込みなど厳しい予算編成だったと思うが、県よりの補助金削減の影響はどうか。

市長 コミュニティバスや浄化槽整備事業など補助金の見直し対象事業は、59項目に及ぶものだった。

問 財政健全化の中で、特に力を注いだ点は。

市長 福祉や教育など市民生活に密着するものは、縮減幅を抑え、歳入の確保と歳出の削減に努めた。特に今回は公共施設の見直しと補助金の適正化に重点をおいた。

問 退職者と新規採用の職員適正化の動向は。

市長 退職者38人、採用は15人で、定員適正化計画では1年早く(94人)達成している。

問 「地域自治振興会」の設置について。来年4月、施行予定だが、市民への周知と働きかけへの計画は。

市長 市の基盤である地域体制を盤石にし再生する為に提案した。現在、庁内検討委員会で具体案のたたき台を検討中。それをもとに市民への説明をした後、タウンミーティングや学区でのワークショップで幅広く意見を聞き、総合的に調整を図っていく。

問 介護問題について、シヨートステイやデイサービスも併設される、特別養護老人ホームが建設されるが、効果のほどは。又365日24時間体制で介護サービスを提供する地域密着型が求められているが、計画は。



健康福祉部長 入所待機者が減る一方、在宅介護サービスの充実も一層進むと期待している。又、認知症対応型グループホームの整備を計画している。

問 女性のガン対策について、子宮ガンや乳ガンの無料クーポンの効果と今後の継続は。

健康福祉部長 新規の検診受診者が増えたことは効果があったと考える。22年度も引き続き継続する。

他に小・中一貫教育についても質問しました。

市政運営及び当初予算提案などについて

正政会



田中 新人

問 市政運営及び当初予算提案で財政健全化の年度ごとの推移を伺う。

市長 実質公債比率や将来負担比率抑制のため、「返す以上に借りない」ことを基本にプライマリバランスの黒字化に軌道修正を行った。それ以外に職員の定員適正化計画の推進や特別職や職員の期末勤勉手当の独自削減など人件費の削減をはじめ、見直しや補助金の適正化を図った予算編成とした。

問 コンビニ収納の導入コストと収納率アップの見込みについて伺う。

市長 導入費用は、税・料金一括収納システムにかかる修正費用・システム機器の整備費用等、5年間で約1億5千万円を予定している。県内他

市の実績により仮に5%の上昇見込みで約5900万円の収納増加が図れ、約3年で投下資本の回収が可能と判断している。

問 教育費や環境問題などに今以上に予算を計上し、積極的に取り組む時期でないか。

市長 休日事業の実施をはじめ、青少年自然活動指導員の設置などの新規事業に着手するとともに、福祉や教育など市民生活に密着するものは出来る限り縮減幅を抑え、これまでの実績や現状に照らし予算配分した。

問 自治振興会の推進には多くの問題を抱えており時間がかかって中核となるリーダーを養成すべきと思うが、所見を伺う。

市長 自治振興会事業に

意欲や情熱のある個人や専門家の参加によりリーダーを見出す、発掘することが大切と考えている。

問 農業の衰退傾向に歯止めがかからない。最近の甲賀市の状況を伺う。



他に子ども手当、雇用問題を問いました。

目次

平成22年第2回甲賀市議会定例会一般質問

平成22年3月10日・11日

順番	議席番号	質問方法	氏名	質問事項
1	10番	分割	鵜飼 勲	1 廃屋対策に関連した本市の危機管理について
				2 「安全」の道標不備による本市の課題について
				3 内貴橋の耐震性と今後の整備計画について
2	1番	一問一答	土山 定信	1 観光資源としての甲賀流忍術について
3	3番	一問一答	森嶋 克己	1 甲南地域福祉活動センター移設に関する件について
				2 認知症サポーター等養成事業について
4	16番	分割	葛原 章年	1 行政改革の推進にともなう市民との“協働”について
				2 “信楽まちなか芸術祭”開催について
5	11番	分割	加藤 和孝	1 介護予防の取り組みについて
				2 住宅用火災警報器の普及について
				3 国民読書年の取り組みについて
				4 学校体育施設開放事業の推進について
6	4番	分割	小西喜代次	1 公共交通で日常的行動を行いやすくするよう、サービスの充実を願う市民の声にこたえよ ①ワンデイチケットの早期実施を ②帝産バス減便に対して市として積極的対応を ③コミュニティバスの充実と改善を
				2 信楽焼振興に積極的対応を
				3 窓口負担の軽減で医療機関にかかりやすくするために ①国保法44条の減免制度をただちに実施を ②市立医療機関での無料低額診療事業の早急な具体化を
				4 聴覚障がい者への積極的施策を
				5 軽度高齢者の入居施設と特別養護老人ホームの増設を
7	25番	分割	橋本 律子	1 雇用・就労支援早急に
				2 地域活性化に向けて
8	7番	分割	谷永 兼二	1 発達障がい児・者支援の現状と今後の課題について
				2 学校施設開放事業／信楽中学校の室内温水プールとトレーニングルームの廃止について
9	8番	一問一答	的場 計利	1 不登校児童・生徒への支援充実を
10	22番	分割	安井 直明	1 自治振興会について
				2 くらしが一段と大変ななか、生活保護の現状と問題点について
				3 あいあいバス廃止に伴う問題点と今後の対応について
				4 黒滝地先の急傾斜地における安全対策について
				5 県道日野徳原線の視距改良と主要地方道土山蒲生近江八幡線の拡幅について
				6 土山町養鶏場での大量死に伴う概要を聞く
11	19番	分割	中西弥兵衛	1 救急医療情報キット「命のボタン」配布事業の普及・啓発について問う
				2 「甲賀市観光振興計画」策定後の実施体制（仕組み作り）の確立と計画的戦略を問う
12	14番	分割	小松 正人	1 市道名坂的場線の下水道管路の工事に伴うでこぼこ路面が危険、最優先して整備せよ
				2 派遣切りされた労働者に対して市営住宅入居の継続更新を認めよ
				3 甲賀市立小・中学校の適正規模・適正配置等の再編計画について問う
				4 野生獣が増える根本原因を探り、耕作放棄地を解消する根本対策の提案について
13	9番	一問一答	舩 藤男	1 獣害対策について
14	20番	分割	岩田 孝之	1 農業問題について
				2 教育問題について
15	2番	一問一答	木村 泰男	1 地域コミュニティセンターと自治振興会の創設について
				2 通学途上の安全確保について
16	6番	分割	橋本 恒典	1 スポーツ振興と健康づくりについて
				2 支所の現状と今後の方向性について

一般質問

16人の議員が

市の考えを問う

◎より詳細な内容はインターネット・甲賀市ホームページの市議会（議会中継）で本議会の模様をご覧ください。

<http://www.city.koka.shiga.jp/>

◎傍聴のご案内

本会議は原則として公開されています。議会を傍聴することにより、市政の方針を知ったり、市議会の活動に触れていただくことが出来ます。ぜひ市議会の傍聴にお越しください。

問 本市の路面標示適否についての現状把握は。

問 市民からの問い合わせや苦情は。

問 市民からの問い合わせや苦情は。

問 市民からの問い合わせや苦情は。

問 市民からの問い合わせや苦情は。

問 市民からの問い合わせや苦情は。

問 市民からの問い合わせや苦情は。

問 市民からの問い合わせや苦情は。

問 市民からの問い合わせや苦情は。

問 市民からの問い合わせや苦情は。

議員 勲 鴉飼

A

実態調査は必要と認識

Q

廃屋問題と危機管理の現状は

建設部長 路面標示の実態は十分とは言えない。

限られた予算の中で、より一層の安全確保のため補修に努めたい。



摩耗により視認性が低下した交差点の停止線

問 滋賀県公安委員会への改善要望は。

市民環境部長 路面標示の適否について現地確認後、修繕が必要な場合はその都度甲賀警察署を通じて修繕要望を行っている。

問 内貴橋改修計画は。

建設部長 平成25年度に橋梁長寿命化修繕計画を策定する予定であり、国の補助金を受けながら計画的に実施する。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

土山定信 議員

Q 甲賀市の代表キャラクターは

A 今のところ考えていない

問 甲賀市の観光振興計画では、観光の三本柱として、旧東海道・甲賀流忍者・信楽とされているが、財政が厳しい時だからこそ予算を掛けずに効果があるキャラクター等準備しておくべきでないか。

甲賀市を代表するイメージキャラクターは、企業、それぞれの団体が作ると効果が薄れると考えられ代表を作らないのか。

産業経済部長 甲賀市では、忍者をイメージしたキャラクターは、「にんじゃえもん」「まるのすけ」「にんくる」「にんくるけし丸」「甲賀ボン蔵」「こうたん・なんたん」「甲賀のゆめ丸」「ござれんじゃー」その他「ちゃちゃ」「ちゃばあ」「しのびん」「匠ボン山」「聖武くん」「かんぴょうマン」「し



市内のいろいろなキャラクター

のびん」「くすリッスちゃん」などそれぞれの地域が、団体が熱い思いで作られ守られたものであり、新しいキャラクターも、統一も現在は考えていない。

問 市役所の玄関にも忍者をイメージするものがある計画していないか。

産業経済部長 今のところ計画していない。

Q 甲南地域福祉センターの移設は

A 他の場所への移設を検討中

森嶋克己 議員

問 甲南地域福祉センターの移設について伺う。

市長 甲南庁舎の車庫を改造して甲南地域福祉センターの移設は困難との回答をしている。民間施設を含めて他の場所を検討している。

問 甲南町からの福祉センター建設基金1億4千6百万円をどうするのか。

市長 目的を持って積み立てられたものであり、市民が納得していただけるもので有効な活用をしていく。

問 社会福祉協議会を行政としてどう思っているのか。

市長 甲賀市の福祉施策

を進めるためには、市と社会福祉協議会とは車の両輪の役割を担っての活動が大切だと思っている。

問 認知症サポーター等の養成研修を、甲賀市はなぜ取り組んでいないのか。

健康福祉部長 民生委員児童委員や老人クラブ・サロンなどで認知症の啓発活動から進めてきた。

問 養成研修をする考えはあるのか。また、目標人数は。

健康福祉部長 サポーターの養成を平成22年度から実施する。甲賀市全体で500人を計画している。

問 小中学生にも正しく理解させる必要があるが。

教育長 認知症の理解は学校教育においても大切で関係部局と検討する。



葛原章年 議員

Q 特区事業の総括はどうする

A 産地振興の取り組みを継続する

問 信楽焼産地の現状をどのように認識しているのか。

副市長 これまでない大変厳しい状況下にあると認識している。脱却を図るためにも、行政と陶器業界が一体となり新たな産地の姿を模索していくことが重要である。

問 信楽まちなか芸術祭「実施に向けての進捗状況は。

副市長 実施計画の取りまとめを進めている。

各イベントの詳細内容や準備スケジュールのほか、会場計画や交通警備、スタッフ配置や安全対策などのイベント管理や運営の全般を盛り込む。

特に安全対策については、最優先事項と考えている。



問 開催に向けて解決すべき課題は。

副市長 昨年より事業周知を計るための説明会を重ねてきたが、まだ十分に浸透していない。今後も継続して情報発信や協力要請を行っていく。

問 特区事業の総括をどのように今後の産地振興、町づくりにつなげていくのか。

副市長 特区期間の終了後も産地振興についての取り組みを継続する。本事業で培った様々な経験を地域の財産として、今後の町づくりにつなげていく。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

Q 介護予防推進のための課題は

加藤和孝 議員

A 介護施策の啓発に工夫が必要

問 本市の介護予防の推進に関し、如何なる課題があるか。

健康福祉部長 特定高齢者を見つけ予防教室などの施策につながるの1.3%しかないため、啓発に工夫が必要。生活機能低下が軽度の段階から予防に取り組むという意識改革が必要である。

問 住宅用火災警報器の設置につき、給付事業の手續きを簡素化しては。健康福祉部長 個人情報報のため、給付事業の対象者かどうかを確認できないので、規定の書類提出が必要となる。高齢者と接する機関で給付事業を

周知していく。

問 国民読書年。読書を通じて家族の絆を強めていくための施策を伺う。

教育長 図書館での掲示などにより国民読書年の周知を行うと共に、現在3地域で実施している移動図書館を全地域に広げる方向でサービス環境の整備を図る。



問 信楽中学校の室内温水プールなど、利用者の声も聞き開放を維持することも可能では。

教育部長 条例改正が否決されたことを重く受け止める。新年度の開放事業にかかる予算措置を講じていないため、早期に組織を立ち上げて具体的な検討を進める。

Q 市の責務で公共交通整備を

A 市の責務で運営全体の認識

小西喜代次 議員

問 地域公共交通全体の運営は市の責務で。

市長 住民の日常生活での移動手段の確保は地域公共交通運営全体の責任だと考える。今年度「甲賀市地域公共交通総合連携計画」を策定する。

問 帝産バス減便後の通院や買い物などの増便の声に積極的な対応を。

企画部長 今後も帝産湖南交通には増便の要請を行っていく。

問 12月議会で復活するとしていたワンデイチケット実施時期はいつか。

企画部長 市および信楽高原鐵道が主体となって22年度中に導入の予定。

問 信楽焼振興に積極的な対応を求め。

副市長 地域の自発的・主体的な取り組みが基本。業界の経験とエネルギーの結集に大きく期待する。

問 国保の窓口負担の減免制度の実施を求め。

市民環境部長 国などの動向を見極め、関係機関と連携し適切に対応する。

問 手話通訳者の正規職員化を求め。

健康福祉部長 今後市職員全体の適正化計画の中で検討したい。

問 虚弱で低所得高齢者の入居施設の確保を。

市長 第5期介護保険事業計画・高齢者福祉計画策定の中で検討したい。



信楽高原鐵道 盆梅列車

他に5項目(目次参照)について質問した。

Q 雇用・就労対策早急に

橋本律子 議員

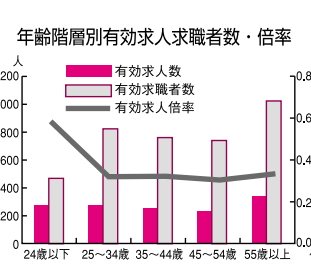
A 相談窓口・雇用拡大努める

問 失業者・生活困窮者に対する支援は厚労省の融資のみでは対応が難しい。市民の実態把握と対策どう考える。

産業経済部長 失業者は平成21年度推計延3万3800人と19年度比123倍。有効求人倍率0.31で職種により大きな差がある。市の対策として、6名の就労相談員を配置し相談助言・求人情報提供中。職安や雇用能力開発機構等との連携を密に企業・事業所の協力を得ながら支援活動を強化する。

問 生活再建への指導・抜本的な雇用対策は市としてどう取り組むか。

市長 総合的対策を図るため、平成21年2月から「甲賀市生活・経済・雇用対策会議」を定期的に開催し緊急雇用対策を実施している。専門家によるケース会議を通し個々の問題解決を図っている。緊急雇用事業において失業者を通じ国へ要望し、雇用拡大に努めていきたい。



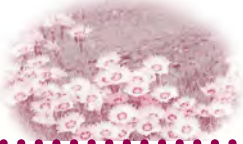
問 甲南IC入り口の市有地有効活用はどう考える。

産業経済部長 1200㎡の土地に甲賀市統一の観光案内板設置を計画。

問 誘客・PR活動の推進どう図る。

産業経済部長 特産品販売・観光施設への誘導は市民の協力を得ながら推し進める。

一般質問



谷永兼二 議員

Q 発達障がい児・者支援について

A 早期発見と支援及び理解が重要

問 発達支援室と「こころあひバスポート」の現状は。

健康福祉部長 就学前の支援対象児は全園児の11.4%

で336人。学童期の特別支援教育の対象児童生徒は91%で1065人。「こころあひバスポート」の利用状況は2月18日現在184人で、今後も普及と活用が進むよう関係機関と取り組んでいきたい。また、発達障がいへの理解と支援の啓発は、大変重要と考えている。

問 早期の発見と適切な支援が必要と考えるが、取り組みは。

健康福祉部長 乳幼児健診にて早期発見・治療のみならず、不適切な養育予防のための子育て支援の視点や、発達障がいの早期支援の視点を踏まえ、より充実した検診となるよう努めている。

問 ことばの教室を利用

できる対応年齢を年少児よりできないか。

教育長 早期発見・対応が効果的であるので、3歳や4歳児の指導においても、今後、検討していきたい。



問 施設統廃合の方針について、協働のまちづくりの観点における所見は。

教育長 市民の皆さんと行政が目標を共有し、力を合わせ、互いの長所を持ち寄り、短所を補い合うことが何より大切である。

他に、個別の教育支援計画、関係機関との連携、こじか教室・小中学校での支援、成人期の対応と就労支援について質問をした。

Q 不登校生の現状と支援の充実を

的場計利 議員

A 登校につながるよう対応を深める

問 社会の宝である将来ある子ども達に、学校生活で、多くの友達と共通の時間を過ごし、楽しいこと、哀しいこと、嬉しいことなど数多く体験して欲しい。と願う大人の一人として、不登校の子どもを何としても救わなければなりません。

甲賀市における現状と対策は。

教育長 集計では国・県に比して割合は高い。

学校では家庭訪問を繰り返し、懇談・別室登校・時間外登校等種々対応している。適応指導教室では保護者同伴で通級できる保護者の会もできている。

問 財政が厳しくなり、SC（スクールカウンセラー）や学生サポート等縮小の方向にあると聞く。

教育は2〜3年待ってもらって余裕ができたから施策を講ずるといふものではない。今この時間にも悩んでいる児がいる。

教育長 SCの配置時数が少ないのは現実です。一人のカウンセラーが適応指導教室を巡回する等よりよい運用を検討していく。学級集団づくりやソーシャルスキル（社会適応力向上）の実践等に家庭・学校・教育委員会一丸となって不登校児童生徒の解消に向かって努力していく。



卒業式 思い出を胸いっぱい

Q 自治振興会は地域の自主性を

A 具体案で十分説明する

安井直明 議員

問 平成23年4月目標の自治振興会は、自主性を尊重し十分な説明を行い、押付けを止めよ。

総務部長 庁内検討委員会で具体案を出し説明すると約束。

問 急増する生活保護の問題では、弱者の立場に立ち「愛ある行政を」。

健康福祉部長 信頼関係を築き、安心して相談できるよう努める。

問 あいあいバス問題の今後を問う。

健康福祉部長 対象外が41人となった。身体状況の変化により必要な場合は相談をしてほしい。

問 黒滝の急傾斜地ネットが破れ補修をせよ。



黒滝の危険箇所

建設部長 土質調査をし、工法を検討する。

問 布引地先、日野徳原線の見直し改良は。

建設部長 県へ申入れる。

問 頓宮の拡幅は。

建設部長 橋の下部工事が再開、22年度は橋の上部工事が、23年度は交差点の改良舗装完了予定となっている。



頓宮の拡幅を

問 養鶏場の大量死の経過と教訓は。

産業経済部長 処理は、地元をはじめ、県、市、JAの支援で作業を完了。

教訓は、助言など支援の必要性と有事に対し、万全の対応が出来るよう体制などの強化を図る。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

Q 「命のバトン」事業を
全市に

A 積極的に
啓発に取り組みたい

中西弥兵衛 議員

問 「救急医療情報キット」とは医療情報や緊急連絡先等を記入した用紙をプラチックボトルに入れ冷蔵庫に保管し、緊急時に活用しようとするもので、この名称を信楽地区では「命のバトン」と呼んでいる。朝のテレビで東京日の出町の取り組みを見た民生児童委員さんがぜひ信楽でもやってみたいと考えられ、社協のスタッフと検討され、今年1月から区長さんと地域福祉会等の協力のもとスタートされました。高齢者障がい者、独居老人等約1700人に配布、3月1日現在1300人

が申込済ですが今後は皆さんに活用していただきたいとの考えです。本市としても共生き社会の展開を図るため、住民相互の自主的な見守り活動とし全地域に拡げるべきと考えらる。

市長 当事業は地域福祉の先駆的な実践事業でありすばらしい活動であると認識しておりますが、まずはご近所福祉会など地域の自主的な取り組みが必要であり、市としても積極的に広報などの啓発活動に取り組みたい。



救急医療情報キット・命のバトン

この他「甲賀市観光振興計画」策定後の仕組みづくりと計画的戦略について質問した。

小松正人 議員

Q 小・中学校の適正規模等の考え方は

A 核となる地域社会の存在が大切

問 地域に根ざした小・中学校の適正規模・配置についての考え方は。

教育長 規模の大小を問わず、地域で育てられ、地域が育てた学校であると云っても過言でない。学校再編では、地域との関わりが決して薄れることのないよう関係者と連携して取り組む。

問 香川県さぬき市の小規模校の視察教訓は何か。

教育長 新しい時代の学

象に、市内の小学校在籍する児童であれば、現住所のままでも一定の条件のもと転入でき



山内小学校「鈴鹿馬子唄」稽古風景

産業経済部長 ご指摘のとおり山間地の耕作放棄地は獣の格好の餌場となっているのが実情である。

Q 団地に出る猿対策は

A 地域で追い払い運動を

舩 藤男 議員

問 団地等に出現した猿対策について、子どもたちが追いかけられたり、被害は出ていないが非常に危険ではと、また近くの保育園等に進入しないとも限らないが、その対策方法は。

産業経済部長 団地に出

没した猿は群からはぐれた若い雄で好奇心も多く、危害を加えようとしているのではない。えさを与えたりすれば、地元の方から逃げなくなり何度も出没し群れに戻らなくなる。出現時に、地域の皆様方で追い払い運動をしていただきたい。また、当番を決めて追い払い運

動をされているところもある。参考にとされたい。問 猪による畦道などについて、対策は。また、里山整備や周辺の草刈りなどにより、出没しやすくなることへ対応は。

産業経済部長 年間を通して防護柵等の設置が大切。補助も計画的に活用され周辺対策をされたい。

問 獣の道路出現における安全対策は。

建設部長 市内各所の山林では鹿が多くなつており事故も多い。出現する場所には警戒看板等で対応を図っていく。



事故にあった鹿

一般質問



岩田孝之 議員

Q 戸別所得補償制度の
本市への影響

A 結果によっては見直しを働きかける

問 直接助成は、需給調整に参加しなかった農家や生産数量目標の達成に関わらず助成するとあるが、集落営農への影響、米価の暴落が懸念されるがどう指導するのか。

産業経済部長 新制度では、米のモデル事業分が加わることで農家経営の安定の一助になると期待している。

集落営農への影響については、全国一律に単価設定されることから農家の意欲の低下を懸念している。需給が緩み価格が下落する懸念については、生産調整の遵守義務が課せられない新制度では米価の動向を注視し、結果によっては制度の見直しを強く働きかける必要がある。

問 JA甲賀が、米、茶に次ぐものとして野菜の

振興を打ち出しているが市の支援と新規需要米の推進の整合性を問う。

市長 来年度からの水田利活用自給率向上事業においても18品目を指定品目とし助成の継続をし、市独自の助成と合せて振興を図る。本市農業の振興の上で必要な施策について積極的に取り組み、関係機関の連携を密にし農業者の経営安定に努める。



水田でのイチジク栽培

Q 自治振興会と地域コミュニティセンターは

A どちらも各小学校区に設置

木村泰男 議員

問 12月議会に引き続き新しいコミュニティの創造について質問。合併当初の「大きな支所と小さな本庁」から「小さな出先機関と大きな本庁」になるのでは。今後の地域経営は。

市長 各小学校区単位への自治振興会と地域コミュニティセンターの設置は、分権時代の住民自治の構築に向けて避けては通れない施策。

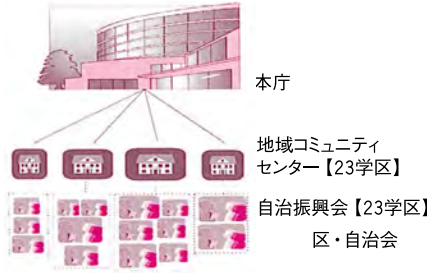
問 各区・自治会には様々な違いがあるが、どのようにして共通した仕組みをつくるのか。

市長 今までの組織運営を尊重しつつ、異なる主

体の連携や協力により深みや厚みのある活動へと可能性を広げる。

問 地域コミュニティセンターの設置で支所は廃止との説明があったが。総務部長 支所の名称は廃止するが、比較的大きな機能を持つコミュニティセンターとして残す。

問 合併に逆行し、他市に例のないセンターの設置や職員の派遣は、職員の労働過重や住民自治を「おんぶにだっこ」することになりはしないか。総務部長 庁内検討委員会で検討を進め、仕組みや体制を整える。



どうなる地域コミュニティ

橋本恒典 議員

Q スポーツ振興と健康づくり

A 市スポーツ振興計画に基づき支援

問 スポーツや運動を通じた市民の健康づくりやまちづくりに対する考え方と、市内スポーツ関係団体の連携およびその現状は。

教育長 「甲賀市スポーツ振興計画」に基づき、スポーツを通して健康で心豊かな生活を送ることができる活気あふれるまちづくりを積極的に推進する。また、組織の育成強化のための支援や、スポーツ振興の底辺拡大のため、体制づくりに努める。

問 支所機能の現状と支所のあり方および住民サービスについての考え方は。

市長 市民に親しんでいただける支所をめざし、今までと変わらない地域本意の業務に努める。支所機能は地域住民にとって必要であり、一定の機能を今後も維持していく。



心と体を鍛えるスポーツ少年団

総務部長 支所機能や業務内容の検討を庁内検討委員会で進めており、業務に伴う必要な職員を確保しながら住民サービスの低下とならない体制を整えていく。

問 合併以降、支所の体制は年々縮小となり、地域の窓口であるとともに地域住民のよりどころである支所の今後の方向性は。

特別委員会の動き

議会改革 特別委員会

変革を迫られる地方議会 開かれた議会運営を目指して

委員長 石川善太郎

議会改革特別委員会は、開かれた議会運営と市民の皆様方に、改めて議会と議員の存在意義を認識していただき、さらには、経済状況の厳しいなか、市の財政状況もふまえて議会と議員の役割を高めるために平成20年4月に設けられた委員会です。昨年の11月の議員改選後も昨今の状況のなか引き続き委員会を設置し、より開かれた議会を目指そうとするものです。前期では、本会議に関すること、委員会の運営に関すること、議会経費に関すること、議会機能の強化について等一定の成果を得ました。これを受けて今期では、開かれた議会に関することについて、議会基本条例の制定や、本会議の自由討議制の導入、議会と市民の対話の



場についてや、議会経費に関して、議員報酬や、選挙費の公費負担について等重要な課題に取り組んでいきます。特に議会基本条例については自立自主の分権時代にふさわしい市民の身近な議会、および議員の活動のための基本事項を定める大切な条例です。変革の迫まられる地方議会の今後のあり方について議論を深めてまいります。

交通対策 特別委員会

信楽高原鐵道支援 「枕木オーナー制度」はじまる

委員長 葛原 章年

2月15日に委員会を開催しました。所管事務調査として、①コミュニティバスの運行状況。②信楽高原鐵道の運営状況。③草津線複線化促進期成同盟会の活動、その他について執行部より説明を受け、協議を行ないました。コミュニティバスについては、厳しい運営ではあるが、市民の足を守るための手段として、22年度10月以降のデマンドバスの一部運行を含めて、経費の削減策、利用実態に沿ったダイヤ編成などの努力をしていくとのことでした。また、信楽高原鐵道の運営についても、少子化の影響で安定的な通学生が減っているなかで、乗降数を増やすために、観光やイベント列車などの観光誘発事業に力を入れていくと



枕木につけられた
ネームプレート

のことでした。その中で利用促進協議会が「枕木オーナー」制度をはじめられたのでご紹介します。鉄道安全運行のための枕木交換の際に、5000円の寄附をいただいた方を「枕木オーナー」として、そのネームプレート

環境対策 特別委員会

産廃、不法投棄の3ヶ所調査 長年の放置、県、市の対応が問題

委員長 小松 正人

本委員会は、一般ゴミの不法投棄の実情や市内に長年放置されたままの産業廃棄物の現場調査を実施し、県や市の対応と解決策を促す方向性を定めた。市民環境部の実態把握では、市内産廃の案件21件のうち、14件は解決したが、現在残る7件が未解決のままの状態にある。今回の調査で、新委員会による完成操業中

のクリーンセンター滋賀を視察したのち、3箇所



甲賀町油日地先▶
平成3年3月に発覚
廃タイヤ20万本の
積み置き

水口町幸ヶ平地先▶
平成10年9月に発覚
廃プラ、ゴムくず等
350トン埋立て
積み置き

水口町春日地先▶
平成17年10月発覚
許可を受けた隣地
の最終処分場の産
業廃棄物を掘り返し
10万㎡を不法投棄

組合議会の動き

公立甲賀病院組合 議会

第1回甲賀病院組合議会開催 22年度病院事業予算可決

収益的収入／92億6615万2千円
資本的収入／20億619万9千円

小松 正人

3月25日、第1回定例会が開催されました。平成22年度の事業会計予算等12議案が上程され、活発な質疑応答があり、慎重審議の結果、全員賛成で可決されました。議会の前に、全員協議会が開かれ、昨年11月に申し入れのあった「病院議会の民主的運営」に関し協議され、現状で運営するが、必要に応じ引き続き協議することとなりました。

議案第2号で24年の開院に向け、40名の職員定数増の条例改正が出され、可決されました。新予算では、特に高額医



第1回甲賀病院組合議会の風景

用⑥医療瑕疵の対処について⑦現病院の駐車場長期放置車の撤去など質問。管理者、病院長の答弁がありました。

甲賀広域行政組合 議会

費用弁償に関する条例の一部改正 4月から議会出席の日当廃止

岩田 孝之

平成22年3月25日甲賀広域行政組合議会第一回定例会が開かれ、条例の一部改正8件、平成21年度補正予算1件、平成22年度一般会計予算をいずれも原案どおり可決しました。

その主なものは次のとおりです。

◆甲賀広域行政組合議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正し、議会に出席した議員に支払われていた、日当2600円を廃止し、実費支給としました。

◆平成22年度甲賀広域組合一般会計予算の概要

◆し尿処理費
1億1352万円

◆ごみ処理費
4億69万円

◆し尿処理施設建設費

3億5310万円（老朽化により、22年、23年

2ヶ年で総額13億8435万円で水処理施設が建設される）

◆消防費
14億8009万円

一般質問

- ①救急・救命体制
- ②救急・救命士について
- ③市税の滞納整理
- ④衛生センターの入れ
- ⑤新名神の消防業務



老朽化により建築予定の水処理施設

議会活動報告 (1月～3月)

1月 5日	広報特別委員会	編集会議	2月 2日	行政視察 (広報)	広島県廿日市市 来庁	3月 5日	本会議	議案審議・採決・付託
12日	文教常任委員会		3日	行政視察 (総務)	鹿児島県日置市 来庁	8日	本会議	代表質問
	産業建設常任委員会		4日	総務常任委員会	視察研修		議会運営委員会	
14日	滋賀県市議会議員研修	東近江市	5日			10日	本会議	一般質問
15日	環境対策特別委員会		8日	民生常任委員会	視察研修	11日	本会議	一般質問・議案上程
	広報特別委員会	編集会議	9日	文教常任委員会	視察研修	12日	予算特別委員会	予算審議
18日	広報特別委員会	編集会議	10日	行政視察 (民生)	三重県紀宝町 来庁	15日	予算特別委員会	予算審議
19日	行政視察 (議改)	宮城県登米市 来庁	15日	交通対策特別委員会		16日	予算特別委員会	予算審議
	議会改革特別委員会		16日	環境対策特別委員会		17日	予算特別委員会	予算審議
21日	民生常任委員会		18日	議会改革特別委員会		18日	総務常任委員会	
22日	議会運営委員会			議会運営委員会			民生常任委員会	
26日	本会議	臨時会		文教常任委員会			産業建設常任委員会	
	議会運営委員会		22日	文教常任委員会		24日	本会議	議案審議・採決
27日	行政視察 (広報)	愛知県愛西市 来庁	24日	本会議	3月定例会・議案上程・説明	29日	広報特別委員会	編集会議
28日	産業建設常任委員会	視察研修	25日	本会議	議案上程・説明			
29日			3月 4日	議会運営委員会				

であいこうか 八景

Vol.2

- | | |
|-----------|------------|
| ① びわ湖の源流 | ⑤ 甲賀の里を望む |
| ② 陶都の山容 | ⑥ 東海道の道しるべ |
| ③ 豊かな田園 | ⑦ 甲賀の車窓から |
| ④ お茶のふるさと | ⑧ 甲賀のにぎわい |

信楽では、笹ヶ岳をはじめとする峰々の稜線の美しさ、山道に咲く市の花「ササユリ」、溪流から流れる神秘的な「鶏鳴の滝」など、高原ならではの自然に出逢えます。



笹ヶ岳の山麓



ササユリ



鶏鳴の滝

陶都の山容



愛宕山より望む陶都信楽

陶都信楽は、稜線の美しい山々に囲まれており、鎌倉時代より山の斜面を利用しての窯や良質の陶土が採れたことにより陶都をつくりあげました。また、細長い谷状の地形から流下する大戸川や信楽川の豊かな自然景観や、これらと調和した農地・茶畑・集落景観など、豊かな自然が残されているだけでなく、紫香楽宮跡関連遺跡群、信楽焼古窯群、および小川城跡など歴史資源も多く、地場産業信楽焼を含めて観光地としての性格を有した、自然と伝統を創造的に生かし、文化の香るまちです。

編集後記

◆平成22年度予算も、財政は厳しい状況ではありますが、甲賀市の将来のことを見据え、慎重に審議を重ね可決しました。◆協働のまちづくりという言葉は浸透してきましたが、実際にどのような事なのか理解はまだまだのような気がします。今年度より『自治振興会(仮称)』への取り組みが本格化されています。私たち市民が財政も含め、将来像をより真剣に考えなければならぬと思います。そのために市議会の果たす役割も重要で、この『議会だより』が行政と市民の協働のまちづくりの一助になるよう、より見やすく、より分かりやすい紙面作りに取り組みたいと思います。(広報特別委員 谷永兼二)

6月議会の予定

- | | | |
|-----|-----|-----------|
| 3日 | 本会議 | 議案上程・説明 |
| 10日 | 本会議 | 議案審議・採決 |
| 14日 | 本会議 | 一般質問 |
| 15日 | 本会議 | 一般質問 |
| 16日 | 本会議 | 一般質問(予備日) |
| 17日 | 委員会 | |
| 18日 | 委員会 | (予備日) |
| 22日 | 本会議 | 議案審議・採決 |

カメラの



甲賀市には多くの伝統行事や無形民俗文化財があります。4月4日には350年前から続いていると言われる「流鏝馬神事」が甲賀町隠岐の椿神社の馬場で行われました。

「おみくじ祭」で選ばれた青年が馬に乗り5回馬場を駆け、1度目は矢を放ち、2、3、4度目は両手を広げ雄姿を表し、5度目は扇子を広げ豊作や氏子の幸せを願います。1度目に放たれた矢は見事、合歡の木の的に的中しました。(写真撮影: 脚 藤男)